

稼ぎ上手、伝え上手、暮らし上手の村になる

うぶやま未来計画



2020-2024 基本計画

実践ガイド編

はじめに

うぶやま未来計画では、2040年の将来像を描きました。

さらに、2020年から10年先までの考え方

「稼ぎ上手、伝え上手、暮らし上手の村になる」と

その実現のための4つの目標と6つの戦略を説明してあります。

実践ガイド編では、さらに具体的な事業内容をご紹介します。

その上で、村民の皆さまにご協力いただきたいこと、

お知らせいただきたいことなども列記しています。

ひとりでできること、地区でできること、

そして役場と一緒にできることがあるはずです。

皆さまのお仕事に役立つ情報もきっとあると思います。

また、こんなこともできるんじゃないかといったご提案も大歓迎です。

皆さまと一緒に、新しい産山村を作っていけたら幸いです。

- この基本計画は、令和2（2020）年度から令和6（2024）年度までの5年間です。令和元年度（2019）に策定し、向こう5年間の事業計画を編成しました。
- 毎年、事業を見直します。事業を検証する仕組みをつくり、年度末に、目標値の達成状況を振り返りながら、必要に応じ事業を見直し、改善していきます。また、補助事業等については確定したものではないものも含まれており、実施にあたっては関係機関と綿密な調整を図るとともに、内容についても必要に応じて見直しを行うこととしています。

※ 本実践ガイド版と全事業の目標値（重要業績評価指標）を設定した詳細版は、村のホームページでご覧になることができます。

4つの地区で開催した座談会では、みなさんから
いろんなアイデアをもらいました。

1—ひとりでできること

- ・ 近所の高齢者や子供への声かけ
- ・ 村で買い物
- ・ 住民健診を受ける
- ・ 地域の行事に参加
- ・ 村や村の教育の良さを宣伝
- ・ 自分でもっと産山村を知る
- ・ 自分たちにできる事は自分たちでやる

2—地区でできること

- ・ 高齢者の外出支援。地区で班を作って送迎。乗り合って買い物
- ・ 地区の防災組織をつくる
- ・ 皆で草刈り
- ・ 公民館活動を活性化
- ・ 地区の長老の方にいろいろなことを聞いて実践
- ・ 近所で集いの場をつくる
- ・ 近所で独居老人の見守り

3—役場と協力してできること

- ・ 地域の食材を持ち寄った子ども・お年寄り食堂
- ・ 山村留学
- ・ 防災につながる間伐材の活用
- ・ 産山ブランドを確立し、販路の拡大
- ・ 人口維持
- ・ 困りごとを解決するサービスを事業化
- ・ 空き家情報集約

01

しっかり稼ぐことができる村

- 施策① 新規就農を受け入れるために
- 施策② 持続可能な農業を確立するために
- 施策③ 農林業所得の向上を図るために
- 施策④ 草地を有効活用するために
- 施策⑤ 観光、商業、産業を支援するために

目標値	2019（基準値）	2024
村民所得の向上	1,788 千円	2,000 千円

■お知らせ、またはご協力をお願い■

- お知り合いで就農希望者、あるいは農業に関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、経済建設課までご紹介下さい。
- 「稼ぐことができる村」を目指して、住民参加型の協議会を立ち上げます。農産物の6次産業化やものづくり、新規創業の支援を行いますので、特産品を作りたい方、ビジネスを立ち上げたいと考えている方、スキルを活かして我こそはと稼ぐ村づくりにご協力して下さる方は企画振興課までお問い合わせください。
- 放置された収穫物や野菜のクズ、竹林のタケノコ、稲刈り後のヒコバエや雑草などが野生鳥獣を引き寄せる「エサ」となっています。野生鳥獣たちに畑や田んぼ、家の周りがエサ場と学習させないようにしましょう。

施策①	新規就農を受け入れるために
主要事業	農業後継者の帰村と新規就農者の確保による担い手対策

事業名	農業次世代人材投資事業（旧青年就農給付金事業） / 農業振興推進事業補助（ハウス新設） / 就農体験事業 / 阿蘇地域若者雇用等連携事業（担い手育成・農業師匠） / 新規就農者受入れ事業
概要	新規就農希望者の受入れを継続し、就農体験の機会を提供します。また、JAや農業指導員等と連携し、新規就農者が安心して農業を継続できるよう、円滑な就農のための仕組みを構築し、包括的な支援を行います。 規模拡大の意欲がある農家に対してはハウス新設等の補助事業の活用を促し、生業としての農業生産を支援します。

施策②	持続可能な農業を確立するために
主要事業	優良農地の確保と農地のあっせんによる農地・農環境の維持管理
事業名	中山間地域等直接支払事業 / 多面的機能支払事業 / 環境保全型農業直接支払交付金事業 / 有害鳥獣対策事業 / ジビエ開発及び個体の有効利用の検討
概要	産山村の農地の大部分が中山間地に存在します。優良農地の選定を行い、次世代農業者への農地の集積を進めます。農地の持つ多面的機能の維持のためにも耕作放棄地の増加は課題です。日照不足や水利条件、鳥獣害被害の多さなどを理由とした条件不利地を中心に耕作放棄地が増加する傾向もあるため、鳥獣害対策の一環として耕作放棄地の削減と整備に取り組みます。 近年の健康志向及び環境問題への関心の高まりから、有機農産物の需要が拡大しています。畜産業と連携した堆肥の活用による土づくり等の研究・開発を進め、化学肥料、農薬をできるだけ使用しない環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業を推進します。

施策③	農林業所得の向上を図るために
主要事業	農業所得の向上 六次産業化商品・ものづくりの推進
事業名	農業振興推進事業補助（農業機械購入補助等・ハウス増設等） / 農業振興推進事業補助（特用林産物種駒購入補助等） / 熊本県中山間農業モデル地区支援事業 / 中山間地域所得向上支援対策事業
概要	農業所得向上のため、農業機械の導入による効率化、ハウス建設による生産性の向上のための補助メニューを設定します。また、中山間地域における持続可

	能な農村をめざすモデル地区としてのビジョンづくりやその活動を支援します。さらに、シイタケ等のきのこ類や山菜等の特産林産物のほか、高単価が見込める作物の選定を行い、耕作放棄地や遊休農地等を活用した作付、生産拡大、販売力の強化などを総合的に支援します。 農業所得を向上させ、産山村ならではの農業に取り組み、所得向上と持続可能な農村を目指します。
--	--

施策④	草地を有効活用するために
主要事業	畜産に関する農業用施設整備とあか牛のブランド化の推進
事業名	放牧活用型草原等再生事業 / 肉用牛導入補助 / 農業振興推進事業補助（畜舎増設・粗飼料収穫機械）
概要	産山村の美しい草原は放牧・採草・野焼きなどによる永年の農業活動によって景観が維持されてきました。この広大な草地資源を今後も維持活用できるよう、肉用牛を増やし、放牧することにより景観や環境との調和が図られるよう、畜産農家への支援を行います。また、近年、赤身肉の需要の高まりから、「うぶやまのあか牛」の一層のブランド化を推進します。

施策⑤	観光、商業、産業を支援するために
主要事業	伴走型起業支援と起業・創業しやすい環境づくり 農産物・6次産業化商品等の販売促進
事業名	産山村商工会助成事業 / 産山村観光協会助成事業 / 観光体制強化事業 / 創業・ものづくり支援事業 / 村内商品PR強化事業 / 村づくり協議会事業
概要	産山村の自然、農業、歴史、食、文化などを産山村ブランドとして構築し、農産物の加工や6次産業化に取り組みます。6次産業化の推進を産山村ブランドの構築と一体的に進めることにより、「産山村」のブランドイメージの定着を図ります。体験メニューの開発は、観光の牽引役である観光協会の体制強化と並行して行い、産山独自の生活文化の魅力を引き出し、プログラム化を行い、関係人口を増やします。 産山村ブランドの立ち上げ、6次産業化の推進、新規創業支援にあたっては協議会を設立し、住民参加型のチームをつくり戦略的に実行します。

02

ちゃんと伝えることができる村

施策① 産山村の知名度向上のために

施策② 知らせ、伝える力を高めるために

目標値	2019（基準値）	2024
年間ふるさと納税額	3,000 千円	60,000 千円

■お知らせ、またはご協力をお願い■

- 村外のお知り合いに村の観光パンフレットやガイドブックを配っていただき、産山村の良さを宣伝してください。また、産山村のふるさと納税をお知り合いにご紹介いただき、ぜひとも村を応援してください。
- SNS（facebook、Instagramなど）で村の四季折々の風景写真や日常の出来事など、産山村の魅力をたくさん発信してください。
- これはニュースになるかも、といった出来事や村の中で新しい「発見」などがありましたら、熊本日日新聞等のメディアへ連絡してみてください。多くの人が産山村のことに興味を持ってくれるきっかけになるかもしれません。

施策①	産山村の知名度向上のために
主要事業	雑誌・情報誌、新聞等のメディア媒体の積極的な活用 農産物・特産品のブランド化とPRによるふるさと納税の強化・推進
事業名	雑誌・情報誌、新聞等のメディア媒体の活用 / 「阿蘇ジオパーク」国内外プロモーション活動推進事業 / ふるさと納税強化拡充事業 / 観光パンフ等の印刷・配布

概要	村の観光資源を広域の推進協議会や阿蘇管内市町村と連携し、国内外へのプロモーション活動を推進します。さらに観光パンフレット等の制作・配布に取り組むほか、新聞等のメディア媒体への記事の掲載を積極的に働きかけるなど、産山村の知名度向上を行います。 さらに、「産山村ブランド」を基軸とした特産品を活用して、ふるさと納税を一層展開し、自主財源を確保します。
----	---

施策②	知らせ、伝える力を高めるために
主要事業	村営の公式サイト の充実と発信強化 SNSの活用拡大による情報公開
事業名	広報うぶやま発行 / 産山村公式サイトの内容充実 / 村営サイト（ぽーたる、産山村）による情報公開と発信強化 / SNS（Facebook、twitter、Instagram等）による情報公開と発信強化
概要	既存の広報媒体（紙、ホームページ等）の内容にさらに磨きをかけて充実を図り、情報を届けたい人に的確に届ける（伝える）ための表現力を向上させます。 SNS等を積極的に利用して、対外的に発信する情報を発信し、「産山村」を言葉やビジュアルで的確に伝え、知名度向上をはかります。

03

興味が湧き訪れたくなる村

施策① 産山村らしいブランドづくりのために

施策② 観光客が訪れやすい村にするために

目標値	2019（基準値）	目標値（2024）
1人あたりの観光消費額	1,366 円	1,700 円

■お知らせ、またはご協力をお願い■

● ヒゴタイ祭や村のイベント、「産山社子屋」の講座にご参加ください。お知り合いにもイベント情報をお知らせください。また、講座やワークショップを企画・開催したい方、イベント開催をお手伝いできる方を募集しています。ご興味のある方は企画振興課までお知らせください。

● 農家の方と協力した農作業体験や草原を活用した交流事業を行います。ご自分の畑を収穫体験等に貸し出してくださる方、草原トレッキング案内等の観光ガイド役に挑戦してみたい方がいらっしゃいましたら、企画振興課までご連絡ください。

施策①	産山村らしいブランドづくりのために
主要事業	観光資源の磨き上げと着地型観光の開発と販売 総合旅行商品等の充実に向けた体制強化と販売強化
事業名	産山社子屋事業 / うぶやまヒゴタイ祭り / 大草原のうさぎ追い in うぶやま / 親子宇宙セミナー / 星空観察会 / 村内観光強化事業
概要	里山の生活や文化、伝統を体験する「産山社子屋」、夏のうぶやまヒゴタイ祭り、冬のうぶやま大草原のうさぎ追い、産山天文台を活用した親子宇宙セミナー・星空観察会等、産山村の特徴的な取り組みについて、村外への発信力を高

	め、参加者を増やすよう努めます。 また、都市住民が農村での生活を体験したり、農家等と協力した農作業や草原を活用したイベントに気軽に参加できる交流事業を開催するなど、何度でも来なくなる村づくりを推進します。これらのブランド構築と着地型観光のメニュー開発は、観光協会の体制を強化し、具体的に展開します。
--	---

施策②	観光客が訪れやすい村にするために
主要事業	観光施設補修及び整備等による観光客の受入れ環境の整備
事業名	大型観光案内板改修事業 / 花の温泉館改修工事 / 観光施設整備改修事業 / 池山水源トイレ整備事業 / 天文台整備事業 / 豊後街道歴史の道整備事業 / 文化財保護事業
概要	観光客の目的地までの移動が的確にできるように、景観を損ねることなくわかりやすい案内板（標識）の整備を行います。また、観光施設の整備改修、観光施設における洋式トイレの設置やバリアフリー化を進めることで、滞在しやすい環境をつくっていきます。併せて、花の温泉館や天文台、村内観光施設の整備を行います。 豊後街道の難所だった産山村には、地元民が行った道普請の跡が数多く残っており、関連する歴史的・文化的な資源が存在します。文化財保護の観点から維持管理を行い、次世代に継承していきます。

04

手厚い教育をさらに進める村

施策① 0歳～15歳までの一貫教育を推進するために

施策② 世界で活躍する人材を育てるために

目標値	2019（基準値）	2024
全国学力調査において「はっきりとした将来の夢や目標がある」と答える9年生の生徒の割合	45 %	60 %

■お知らせ、またはご協力をお願い■

- 子どもたちの豊かな学びや成長のために、地域と学校がパートナーとして連携して取り組んでいけるよう、住民の方々からのご支援がぜひとも必要です。学校でのイベントや行事に積極的にご参加ください。また、登下校時には子どもたちへの声掛けをお願いいたします。
- 放課後子ども教室や放課後児童クラブをお手伝いいただける方を募集しています。ご興味のある方は教育委員会までお知らせください。

施策①	0歳～15歳までの一貫教育を推進するために
主要事業	地域と学校が相互に連携・協働する「地域学校協働本部事業」の推進 生きる力の基礎を育む認定こども園化による0歳～15歳までの一貫教育の確立 地域コミュニティの醸成を基にした山村留学の実現に向けた検討 ICTの活用による学力・資質向上の取組

事業名	地域子ども・子育て支援拠点事業 / 学校・家庭・地域の連携推進事業（地域学校協働本部事業） / 学校・家庭・地域の連携推進事業（地域未来塾による学習支援事業） / 学校・家庭・地域の連携推進事業（放課後子ども教室） / 高校生がんばれ助成金事業 / 学校運営協議会（コミュニティースクール） / 土曜日の教育活動推進事業（土曜授業） / 各種検定助成事業 / 産山村教育研究会事業 / 情報教育推進事業 / 海山交流推進事業 / スクールバス運行事業 / 学力向上の推進 / 教材の充実 / 学校読書活動の推進 / 給食調理業務の推進 / 就学前教育の充実 / 保育支援事業（英会話・ダンス）
概要	現在9年制の義務教育学校として運営する産山学園は、子どもが抱く夢の実現に向けた教育を推進し、0歳から15歳まで連続性を持った保小中一貫教育を確立するため、うぶやま保育園の認定子ども園化を目指します。 また、現在整備している児童・生徒数分のタブレットや各教室の電子黒板などのICT機器をさらに効果的に活用して学習指導の充実を図るとともに、児童・生徒の情報活用能力を高め、情報化社会の中で新しい技術を活用しながら、学力を高め、視野を広げる取組みを行います。 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）と、地域学校協働本部事業等を連携させ、「学校応援隊」が豊かな体験学習などの教育活動に関わることで、地域と学校が一体となった教育を推進します。また、児童・生徒に確かな学力をつけるために、村内の教職員OBや地域住民、大学等と連携し、学校の授業以外でも公的な学習支援である「うぶやま夢塾」を実施します。

施策②	世界で活躍する人材を育てるために
主要事業	ヒゴタイ交流を背景とする英語教育の充実
事業名	ヒゴタイ交流事業 / JET事業 / ICTを活用したタイとのオンライン交流事業
概要	1988（昭和63）年度に始まったタイ王国国立カセサート大学附属中学校と国際交流（通称ヒゴタイ交流）を継続します。 併せて、産山学園の独自カリキュラムである「ヒゴタイイングリッシュ」（英会話科・英語科）も継続します。またJET事業を活用し、海外の外国語教師を受け入れ、実践的な英語教育と国際交流を推進し、子どもたちの国際感覚を培います。 英語力のレベルアップや基礎力を測るため、「チャレンジ学習」の中での英語検定受検を支援します。

05

移住して来たい住み続けたい村

- 施策① 村外からの子どもを積極的に受入れるために
- 施策② 移住定住がしやすい村であるために
- 施策③ ときめく出会いの場をつくるために
- 施策④ 産みやすい育てやすい村にするために
- 施策⑤ 医療や介護を行いやすい体制をつくるために
- 施策⑥ 住民の暮らしと安全をサポートするために
- 施策⑦ 環境にやさしい循環型の社会をつくるために
- 施策⑧ 災害に強い地域をつくるために

目標値	2019（基準値）	2024
年間転入者総数	42 人	47 人

■お知らせ、またはご協力をお願い■

- 村では山村留学制度を検討します。都市部にお住まいのご親戚やお知り合いに、自然環境と教育環境の整った産山村で、のびのびと学ぶことができる山村留学制度についてぜひお知らせください。
- 村の暮らしを体験しながら最長27泊まで宿泊可能な「お試し住宅」があります。移住を検討しているお知り合いにお知らせください。また、貸家や空き家の情報がありましたら、企画振興課までお知らせください。
- 年に1回、健康診断を受けましょう。健診結果はご自身の生活習慣を見直すヒントがたくさんあります。生活習慣病を予防するためにも「禁煙・減塩・4秒筋トレ」を合言葉にできることから取り組みましょう。

● 産山村では妊娠・出産・子育てに関する様々な相談に応じ、安心して子育てができるよう、切れ目のない支援を行っています。妊娠中、子育て中の不安や子どもの成長、ご家族のことも含めて役場保健師までお気軽にご相談ください。

また、子育て支援センターでは親子で楽しめる活動や子育て世代の交流等を行っています。子育ての心配事や悩みも相談できますので、お気軽にご利用ください。お子さんが成長する大事な期間を、安心して過ごすことができるように取り組んでいます。大事なお子さんの育ちと一緒に悩み、一緒に喜んでいきましょう。

● 家庭用生ゴミ処理機の購入や合併浄化槽の設置費用の一部に対して補助制度があります。詳しくは住民課までお尋ねください。

● 災害はいつ起きるのか誰にもわかりません。「自分の命は自分で守る」を基本に、普段から避難経路を確認し、水や食料、日用品など、3日分以上の備蓄をしましょう。また、台風や豪雨時には、気象情報を常に確認し、早めに安全な場所に避難しましょう。

● 消防団は村の安心と安全を守る重要な役割を担っていますが、近年、団員数が減少傾向にあります。村では消防団員を募集していますので、皆さまのご協力をお願いします。

施策①	村外からの子どもを積極的に受入れるために
主要事業	産山村の特色ある教育を受けたい子どもたちの受入れ体制の構築
事業名	山村留学の実現に向けた準備
概要	9年制の義務教育学校である「産山学園」には、子どもたちの夢をかなえる力を伸ばす独自の教科を設定し、2学期制を取り入れ、1年生から9年生まで切れ目のない教育体制を整えています。産山学園の独特な教育法は、多くの教育関係者に注目され、子どもたちの学力向上、自己実現の力を育てるための教育効果が示されています。これらの教育を村外からでも受けたいという子どもたちのため、「山村留学制度」を検討します。山村留学に際して受け入れる住環境の整備や、子どもたちの支援などの体制を作り、村外からの子どもたちが安心して、雄大な自然のなかで教育を受け、自己実現する力を育む仕組みの構築を目指していきます。

施策②	移住定住がしやすい村であるために
主要事業	住宅の整備・空き家バンクの充実等による移住定住の促進
事業名	産山暮らし移住定住サポート事業 / 産山村住宅リフォーム助成事業 / 村営住宅建設事業
概要	県内外からの移住定住を促進するため、移住定住に特化したホームページ等を整備し、村の支援策や生活全般にわたる情報提供を行います。村内の空き家情報等を収集、データ化し、県内外に発信していきます。また、県や関係団体と連携し、より効果的な情報発信を行います。また併せて村営住宅を整備していきます。 産山村に住んでみたいと希望する方が、最長1か月まで滞在することができる「お試し住宅」の利用を促進します。

施策③	ときめく出会いの場をつくるために
主要事業	出会い創出イベントの開催
事業名	出会い創出事業
概要	自然豊かな産山村で結婚し、生活していきたいと望む人に対して、出会いの場を創出するイベントを開催します。産山村の景観や資源を活用し、さまざまな体験を一緒に経験する機会を通して、参加者同士のコミュニケーションを促進し、豊かな人間関係をつくり、出会いが生まれるように促します。企画の立案・実施に関しては、産山村商工会や各種関係団体と連携し実行していきます。

施策④	産みやすい育てやすい村にするために
主要事業	定期健診体制確保 子ども医療費及び手当等による出産・子育て支援の充実
事業名	ひとり親家庭医療費支援事業 / 出産祝い金支給事業 / 予防接種事業 / 乳幼児・児童・生徒医療費支援事業 / 里帰り出産妊婦健診費扶助事業 / 早産予防対策事業 / 母子保健事業

概要	村民が安心して子どもたちを産み、育てることができるよう、妊娠期間中のサポートを含めて、出産・育児・教育にかかる必要な費用に対して支援を行います。
----	--

施策⑤	医療や介護を行いやすい体制をつくるために
主要事業	住民健診及び予防接種 筋トレ運動の推進による保健・医療・健康づくりの充実
事業名	住民（ガン）検診推進事業 / 救急医療圏輪番制運営事業 / 在宅当番医制事業運営事業 / へきち医療医師確保事業（熊本大学） / 予防接種事業 / 健康づくり推進事業
概要	住民が産山村で安心して暮らすことができるよう、各種健診事業を推進するとともに、医療・介護等のサービスを適切に受けることができるよう、関係機関と連携し、体制整備を行います。 救急時の体制構築や、AEDの設置を行い、関係者や住民への救命救急講習のほか、情報共有を進めることで、救急時のネットワークをつくります。 日頃の健康づくりは、子どもの育ち、妊娠、出産、病気や介護等の進展に影響を及ぼすことから、健康増進に関する啓発活動を行い、村民が健康に暮らすことができるよう支援を行います。

施策⑥	住民の暮らしと安全をサポートするために
主要事業	生活インフラの維持・整備 交通安全の指導・防犯対策
事業名	狂犬病予防接種 / 特設人権相談 / 交通安全指導事業 / 防犯対策事業 / 配水管・配水池工事
概要	村民が村で安心して暮らすことができる基盤整備を行います。暮らしや安全をサポートする狂犬病予防接種や防犯灯の設置等を円滑に進め、村民への広報・啓発を行うほか、水道といった生活インフラの維持・整備も行います。また、村民の生活や人権を脅かす事象に対して、適切な措置を行うことができる体制を構築し、予防、再発防止に努めていきます。

施策⑦	環境にやさしい循環型の社会をつくるために
主要事業	環境の保全・循環型社会の構築
具体的事業	ゴミ処理 / 生ゴミ処理機購入事業 / 合併浄化槽支援事業
概要	産山村の自然環境を守るため、環境負荷を低減させる取組を行います。リサイクルを推進するため、ゴミの分別について啓発活動を行うほか、ゴミの回収を行います。 循環型の生活を推進し、ゴミの削減を行うため、家庭用生ゴミ処理機の購入にあたり補助制度を設けます。産山村の公共用水域の水質汚濁の進行を防止し、住民の生活環境保全を図るため、合併浄化槽の設置費用の一部に対して補助を行います。

施策⑧	災害に強い地域をつくるために
主要事業	国土強靱化地域計画に基づく防災体制の推進 治山・治水への取組み
事業名	災害用備蓄品購入 / 避難所機能向上整備事業（国土強靱化地域計画） / 消防団活動事業 / 消防団車両等維持管理・更新事業 / 消防水利等維持管理・整備事業 / 防災無線維持管理・整備事業 / 防災カメラ維持管理・整備事業 / 道路改良事業 / 治山・治水等の整備
概要	災害に対する対応力を高めるため、基盤整備を進めます。推進にあたっては、国が東日本大震災を受けて制定した「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」に基づき、産山村の状況に応じた事前防災・減災と復旧、復興に関する計画を策定し、村民のいのち、生活を守るための対策を行います。

06

一緒に頑張り協働で生きる村

- 施策① 自然景観を守り、継承するために
- 施策② 学び続ける産山村であるために
- 施策③ 高齢者の暮らしを支えるために
- 施策④ 健康長寿に向けた取組みを推進するために
- 施策⑤ 障がいのある方々の福祉充実のために
- 施策⑥ 移動手段を確保するために
- 施策⑦ 村の拠点とコミュニティをつくるために

目標値	2019（基準値）	2024
要介護認定率の推移	23 %	19.9 %

■お知らせ、またはご協力をお願い■

- 村では英会話や手芸など様々な生涯教育に取り組んでいます。「自分の特技を生かして、こんな講座をやってみたい」「みんなで一緒にこんなことがやってみたい」というアイデアをお持ちでしたら、教育委員会までお知らせください。得意なことを活かして、みんなで楽しく学び合う「人材バンク」への登録者も募集しております。
- いくつになっても、住み慣れた産山村で生活できるように健康づくりに努めましょう。サロンや輝き教室、地域の老人会等、社会活動に参加することは心と体の健康づくりにつながります。
- みなさんが仲間同士やグループで、村の活性化に取り組む活動（環境保全、地域おこし等）に対して支援する「むらづくり活動支援交付金」や、技術習得のための研修や地域づくり等を目的とした視察研修を助成する「産山村人材育成事業」があります。詳しくは企画振興課までお尋ねください。

施策①	自然景観を守り、継承するために
主要事業	自然景観を守るための道路の除草
事業名	村道除草作業 / 農地・草原の維持管理（中山間地域等直接支払事業）
概要	村民や観光客が安全に村内を移動できるよう、村道を除草し、景観を維持していきます。また、野焼きや輪地切り等を行い、草原を維持していきます。

施策②	学び続ける産山村であるために
主要事業	生涯学習・読書活動の推進、体育・スポーツの振興
事業名	生涯学習の推進事業 / 文化団体育成事業 / 読書活動の推進 / 人権教育推進事業 / スポーツ団体育成事業 / 総合型スポーツクラブ推進事業 / 運動施設管理運営事業
概要	村民が生涯にわたり学習意欲を持ち、生活の質の向上のために生涯学習に取り組むことができる環境の整備と事業推進を行います。また、健康維持や世代間交流を促進するために運動に取り組める環境づくりを推進します。

施策③	高齢者の暮らしを支えるために
主要事業	生きがいづくり活動のための集いの場の確保 適切な介護サービスの提供と在宅福祉推進による高齢者福祉の充実
具体的事業	高齢者外出支援サービス事業（村内・村外・圏域外） / 配食サービス支援事業 軽度生活支援事業 / 高齢者サロン活動支援事業 / かがやき教室事業 / 高齢者相談事業 / 高齢者実態把握事業 / 高齢者見守りセンサー事業 / 村老連友愛訪問活動支援事業 / 在宅介護施設居宅支援事業 / 在宅介護支援事業 / 移動販売車の運行事業
概要	長い間、産山村を支え続けてきた村民が、高齢になっても安心して暮らすことができるよう、さまざまな側面から生活を支援します。特に車での移動が不可欠な産山村では、高齢者世帯の増加によって、高齢ドライバーの事故が危惧されています。また、高齢化により、外出が難しくなる場合は引きこもりにつながり、外部との交流が途絶えがちになってきます。そのような状況下で高齢者ができるだけ車に頼らず生活できるよう、外出支援サービスや移動販売等の生

	活支援に取り組んでいきます。
--	----------------

施策④	健康長寿に向けた取組みを推進するために
主要事業	老人クラブの活動支援、筋トレ運動の推進
事業名	ヒゴタイ推進員連携事業 / 筋トレ運動村内水平展開事業 / 米寿祝金支給事業 / お達者祝い金支給事業 / 金婚夫婦表彰事業 / 敬老会支援事業 / 村老人クラブ連合活動支援事業（村・単老） / 針・灸施術支援事業 / 食生活改善事業
概要	村民が年齢を重ねるなかで、心身の健康を維持していくための事業を行います。住み慣れた場所で、健康に毎日を過ごすことができるよう老人会の支援、筋トレ運動の推進等を行い、高齢者の活躍の場の創出と、健康づくりを支援します。

施策⑤	障がいのある方々の福祉充実のために
主要事業	障がい者の社会参画と自立の支援
事業名	障がい者活動支援事業 / 障がい者医療費助成事業 / 障がい者社会参加と自立支援事業 / 重度心身障がい者医療費助成事業
概要	障がいの有無にかかわらず、村民一人ひとりの尊厳を守り、安心して生活できる社会をつくることが重要です。障がい者の個性や能力を尊重し、自分らしく生きることができるよう、必要な医療費の支援や、社会参加の機会を作っていきます。

施策⑥	移動手段を確保するために
主要事業	地域公共交通網形成計画の策定 コミュニティバス運行等を通じた交通弱者対策
事業名	地域交通網形成計画の策定 / 診療所送迎 / 産山村コミュニティバス運行事業 / 乗合タクシー事業
概要	産山村では自動車による移動が必要不可欠になっています。運転免許を持たない方や、高齢等の理由により免許返納をされた方のためにコミュニティバスや

	乗合タクシー等を活用した交通弱者対策を継続して実施していきます。 買い物や通院は村内よりも隣接する阿蘇市や竹田市を利用する人が多く、村外への公共交通網の整備が喫緊の課題となっています。村民の移動実態とニーズを合わせ、買い物や通院のしやすさをかなえるための地域交通網形成計画を策定し、将来的な産山村の最適な移動手段の検討を行います。
--	---

施策⑦	村の拠点とコミュニティをつくるために
主要事業	「小さな拠点」をハブとする安心して暮らせるコミュニティづくり
事業名	小さな拠点整備事業 / 公民館活動事業 / むらづくり活動支援交付金 / 産山村人材育成事業 / 地域おこし協力隊事業
概要	少子高齢化と人口減少が進み、地域運営の担い手も高齢化が進んでいます。そのため、地域で伝統的に受け継がれている行事の担い手不足や、生活サービスの低下が懸念されています。人口減少社会に対応しながらも、地域運営を効果的に行っていくために、生活サービス機能の提供や地域交通ネットワークの確保等の取組みの核となる「小さな拠点」の形成を推進していきます。 それらの運営を担う地域運営組織の形成を促し、将来にわたり、住民が住みやすい地域づくりを継続していきます。地域おこし協力隊などの制度も積極的に活用し、村民だけでは補えない部分に対しては外部の知恵と力を借り、地域をつくる実行力を高めていきます。 また、地区住民における公民館活動への支援を行うほか、村民が協働で地域の活性化のために取り組む活動（環境保全、地域おこし等）に対して支援交付金を交付します。

産山村は、かつては小さな村だった。
産山村は、いまでも小さな村である。

2040年を迎えたとき、
私たちが、自信と誇りを持ってこう言えるように、
2020年からの10年、さらにその最初の5年を着実に進んでいくためには、
1年1年を、そして1日1日をしっかり進んでいかなければなりません。
村民ひとり一人が知恵を出し、また互いに力を合わせて、
小さくとも豊かな産山村を必ず実現していきましょう。

うぶやま未来計画 実践ガイド編

2020（令和2）年3月 発行

発行者：産山村企画振興課

〒869-2703 熊本県阿蘇郡産山村山鹿 488番地 3

TEL 0967-25-2211

URL <http://www.ubuyama-v.jp>